研究機関の名称 自治医科大学看護学部 成田 仲 7 2012 年 1 月から 2020 年 12 月までに自治医科大学総合周産期 母子医療センター院内助産所 7 ヴィに分娩目的で入院し出産 された方を対象とします。 田産される妊婦さんやご家族にとっては、医師が立ち会うことなく助産師が妊婦健診を行うことや、助産師だけで分娩を介助することは安全なのだろうか、という不安や疑念をお持ちの方もいらっしゃることと思います。 現在日本において、助産師が主導して妊娠・分娩管理を行っている場所は地域で開業する助産所と病院・診療所に併設する院内助産です。先行研究の結果からは、院内助産については産科病棟での分娩介助と同等の安全性が示されています。 そこで、「妊産婦の安全」という点に着目して、助産所と院内助産とで分娩に至った妊産婦の分娩データを集めます。調査結果から得られたデータを集めます。 調査結果から得られたデータを集めます。 調査結果から得られたデータを集めます。 調査結果から得られたデータを集めます。 同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも同様に分娩データを病院情報システムより抽出します。 同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも同様に分娩データを補出し、比較分析を行い検討します。 データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、氏名、生年月日、住所を削除し、研究用 IDに置き換えバスワードを付けた USB メモリに保存します。 が究期間 2021年9月3日から 2024年3月31日まで 妊産婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。 妊産婦さんが解析対象となることを拒否された場合は対象	TT do 300 FT do	
研究機関の名称 自治医科大学看護学部 研究責任者の氏名 成田 伸 研究対象 2012 年 1 月から 2020 年 12 月までに自治医科大学総合周産期 母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに分娩目的で人院し出産 された方を対象とします。 出産される妊婦さんやご家族にとっては、医師が立ち会うことなく助産師が妊婦健能を行うことや、助産師だけで分娩を介助することは安全なのだろうか、という不安や疑念をお持ちの方もいらっしゃることと思います。 現在日本において、助産師が主導して妊娠・分娩管理を行っている場所は地域で開業する助産所と病院・診療所に併設する院内助産です。先行研究の結果からは、院内助産については産科病棟での分娩介助と同等の安全性が示されています。 そこで、「妊産婦の安全」という点に着目して、助産所と院内助産とで分娩に至った妊産婦の分娩データを集めます。調査結果から得られたデータを比較することによって、助産師が主導して行う妊娠・分娩管理は安全かどうかを検証することができると考えます。 研究方法 2012 年 1 月から 2020 年 12 月までに自治医科大学総合周産期母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに、分娩目的で入院した方の分娩データを病院情報システムより抽出します。同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも同様に分娩データを抽出し、比較分析を行い検討します。データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、氏名、生年月日、住所を削除し、研究用 ID に置き換えバスワードを付けた USB メモリに保存します。 研究期間 2021 年 9 月 3 日から 2024 年 3 月 31 日まで 研究に利用する情報 好産が最近です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。	研究課題名	「ローリスク産婦における助産所分娩の安全性
研究責任者の氏名 成田 伸 研究対象 2012 年 1 月から 2020 年 12 月までに自治医科大学総合周産期 母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに分娩目的で入院し出産 された方を対象とします。 出産される妊婦さんやご家族にとっては、医師が立ち会うこ となく助産師が妊婦健診を行うことや、助産師だけで分娩を介 助することは安全なのだろうか、という不安や疑念をお持ちの 方もいらっしゃることと思います。 現在日本において、助産師が主導して妊娠・分娩管理を行っている場所は地域で開業する助産所と病院・診療所に併設する 院内助産です。先行研究の結果からは、院内助産については産 科病棟での分娩介助と同等の安全性が示されています。 そこで、「妊産婦の安全」という点に着目して、助産所と院内 助産とで分娩に至った妊産婦の分娩データを集めます。 調査結果から得られたデータを比較することによって、助産師が主導して行う妊娠・分娩管理は安全かどうかを検証することができると考えます。 研究方法 2012 年 1 月から 2020 年 12 月までに自治医科大学総合周産 期母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに、分娩目的で人院した方の分娩データを病院情報システムより抽出します。 同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも 同様に分娩データを抽出し、比較分析を行い検討します。 データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、氏名、生年月日、住所を削除し、研究用 ID に置き換えバスワードを付けた USB メモリに保存します。 研究期間 2021 年 9 月 3 日から 2024 年 3 月 31 日まで 好定期間 2021 年 9 月 3 日から 2024 年 3 月 31 日まで 好定期日の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。		~院内助産との比較~」
研究対象	研究機関の名称	自治医科大学看護学部
母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに分娩目的で入院し出産された方を対象とします。 出産される妊婦さんやご家族にとっては、医師が立ち会うことなく助産師が妊婦健診を行うことや、助産師だけで分娩を介助することは安全なのだろうか、という不安や疑念をお持ちの方もいらっしゃることと思います。 現在日本において、助産師が主導して妊娠・分娩管理を行っている場所は地域で開業する助産所と病院・診療所に併設する院内助産です。先行研究の結果からは、院内助産については産科病棟での分娩介助と同等の安全性が示されています。そこで、「妊産婦の安全」という点に着目して、助産所と院内助産とでう娩に至った妊産婦の分娩データを集めます。調査結果から得られたデータを比較することによって、助産師が主導して行う妊娠・分娩管理は安全かどうかを検証することができると考えます。 3012年1月から2020年12月までに自治医科大学総合周産期母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに、分娩目的で入院した方の分娩データを病院情報システムより抽出します。同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも同様に分娩データを抽出し、比較分析を行い検討します。データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、氏名、生年月日、住所を削除し、研究用 ID に置き換えパスワードを付けた USB メモリに保存します。 研究期間 2021年9月3日から2024年3月31日まで 好産婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。	研究責任者の氏名	成田 伸
された方を対象とします。 出産される妊婦さんやご家族にとっては、医師が立ち会うことなく助産師が妊婦健診を行うことや、助産師だけで分娩を介助することは安全なのだろうか、という不安や疑念をお持ちの方もいらっしゃることと思います。 現在日本において、助産師が主導して妊娠・分娩管理を行っている場所は地域で開業する助産所と病院・診療所に併設する院内助産です。先行研究の結果からは、院内助産については産科病棟での分娩介助と同等の安全性が示されています。 そこで、「妊産婦の安全」という点に着目して、助産所と院内助産とで分娩に至った妊産婦の分娩データを集めます。調査結果から得られたデータを比較することによって、助産師が主導して行う妊娠・分娩管理は安全かどうかを検証することができると考えます。 3012年1月から2020年12月までに自治医科大学総合周産期母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに、分娩目的で入院した方の分娩データを病院情報システムより抽出します。同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも同様に分娩データを抽出し、比較分析を行い検討します。データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、氏名、生年月日、住所を削除し、研究用 ID に置き換えパスワードを付けた USB メモリに保存します。 研究期間 3021年9月3日から2024年3月31日まで 妊産婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。	研究対象	2012 年 1 月から 2020 年 12 月までに自治医科大学総合周産期
研究の目的・意義 出産される妊婦さんやご家族にとっては、医師が立ち会うことなく助産師が妊婦健診を行うことや、助産師だけで分娩を介助することは安全なのだろうか、という不安や疑念をお持ちの方もいらっしゃることと思います。 現在日本において、助産師が主導して妊娠・分娩管理を行っている場所は地域で開業する助産所と病院・診療所に併設する院内助産です。先行研究の結果からは、院内助産については産科病棟での分娩介助と同等の安全性が示されています。 そこで、「妊産婦の安全」という点に着目して、助産所と院内助産とで分娩に至った妊産婦の分娩データを集めます。調査結果から得られたデータを比較することによって、助産師が主導して行う妊娠・分娩管理は安全かどうかを検証することができると考えます。 研究方法 2012 年 1 月から 2020 年 12 月までに自治医科大学総合周産期母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに、分娩目的で入院した方の分娩データを病院情報システムより抽出します。同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも同様に分娩データを抽出し、比較分析を行い検討します。データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、氏名、生年月日、住所を削除し、研究用 ID に置き換えパスワードを付けた USB メモリに保存します。 研究期間 2021 年 9 月 3 日から 2024 年 3 月 31 日まで 年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、産婦・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。		母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに分娩目的で入院し出産
となく助産師が妊婦健診を行うことや、助産師だけで分娩を介助することは安全なのだろうか、という不安や疑念をお持ちの方もいらっしゃることと思います。 現在日本において、助産師が主導して妊娠・分娩管理を行っている場所は地域で開業する助産所と病院・診療所に併設する院内助産です。先行研究の結果からは、院内助産については産科病棟での分娩介助と同等の安全性が示されています。 そこで、「妊産婦の安全」という点に着目して、助産所と院内助産とで分娩に至った妊産婦の分娩データを集めます。調査結果から得られたデータを比較することによって、助産師が主導して行う妊娠・分娩管理は安全かどうかを検証することができると考えます。 研究方法 2012年1月から2020年12月までに自治医科大学総合周産期母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに、分娩目的で入院した方の分娩データを病院情報システムより抽出します。同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも同様に分娩データを抽出し、比較分析を行い検討します。データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、氏名、生年月日、住所を削除し、研究用 ID に置き換えパスワードを付けた USB メモリに保存します。 研究期間 2021年9月3日から2024年3月31日まで 研究期間 好定婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。		された方を対象とします。
助することは安全なのだろうか、という不安や疑念をお持ちの方もいらっしゃることと思います。 現在日本において、助産師が主導して妊娠・分娩管理を行っている場所は地域で開業する助産所と病院・診療所に併設する院内助産です。先行研究の結果からは、院内助産については産科病棟での分娩介助と同等の安全性が示されています。 そこで、「妊産婦の安全」という点に着目して、助産所と院内助産とで分娩に至った妊産婦の分娩データを集めます。調査結果から得られたデータを比較することによって、助産師が主導して行う妊娠・分娩管理は安全かどうかを検証することができると考えます。 研究方法 2012 年 1 月から 2020 年 12 月までに自治医科大学総合周産期母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに、分娩目的で入院した方の分娩データを病院情報システムより抽出します。同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも同様に分娩データを抽出し、比較分析を行い検討します。データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、氏名、生年月日、住所を削除し、研究用 ID に置き換えパスワードを付けた USB メモリに保存します。 研究期間 2021 年 9 月 3 日から 2024 年 3 月 31 日まで 好定婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。	研究の目的・意義	出産される妊婦さんやご家族にとっては、医師が立ち会うこ
方もいらっしゃることと思います。 現在日本において、助産師が主導して妊娠・分娩管理を行っている場所は地域で開業する助産所と病院・診療所に併設する院内助産です。先行研究の結果からは、院内助産については産科病棟での分娩介助と同等の安全性が示されています。そこで、「妊産婦の安全」という点に着目して、助産所と院内助産とで分娩に至った妊産婦の分娩データを集めます。調査結果から得られたデータを比較することによって、助産師が主導して行う妊娠・分娩管理は安全かどうかを検証することができると考えます。 研究方法 2012 年 1 月から 2020 年 12 月までに自治医科大学総合周産期母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに、分娩目的で入院した方の分娩データを病院情報システムより抽出します。同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも同様に分娩データを抽出し、比較分析を行い検討します。データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、氏名、生年月日、住所を削除し、研究用 ID に置き換えパスワードを付けた USB メモリに保存します。 研究期間 2021 年 9 月 3 日から 2024 年 3 月 31 日まで 研究期間 女産婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。		となく助産師が妊婦健診を行うことや、助産師だけで分娩を介
現在日本において、助産師が主導して妊娠・分娩管理を行っている場所は地域で開業する助産所と病院・診療所に併設する院内助産です。先行研究の結果からは、院内助産については産科病棟での分娩介助と同等の安全性が示されています。そこで、「妊産婦の安全」という点に着目して、助産所と院内助産とで分娩に至った妊産婦の分娩データを集めます。調査結果から得られたデータを比較することによって、助産師が主導して行う妊娠・分娩管理は安全かどうかを検証することができると考えます。 研究方法 2012年1月から2020年12月までに自治医科大学総合周産期母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに、分娩目的で入院した方の分娩データを病院情報システムより抽出します。同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも同様に分娩データを抽出し、比較分析を行い検討します。データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、氏名、生年月日、住所を削除し、研究用 IDに置き換えパスワードを付けた USB メモリに保存します。 研究期間 2021年9月3日から2024年3月31日まで 好完に利用する情報 妊産婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。		助することは安全なのだろうか、という不安や疑念をお持ちの
ている場所は地域で開業する助産所と病院・診療所に併設する院内助産です。先行研究の結果からは、院内助産については産料病棟での分娩介助と同等の安全性が示されています。そこで、「妊産婦の安全」という点に着目して、助産所と院内助産とで分娩に至った妊産婦の分娩データを集めます。調査結果から得られたデータを比較することによって、助産師が主導して行う妊娠・分娩管理は安全かどうかを検証することができると考えます。 2012年1月から2020年12月までに自治医科大学総合周産期母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに、分娩目的で入院した方の分娩データを病院情報システムより抽出します。同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも同様に分娩データを抽出し、比較分析を行い検討します。データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、氏名、生年月日、住所を削除し、研究用IDに置き換えパスワードを付けたUSBメモリに保存します。 研究期間 2021年9月3日から2024年3月31日まで 研究に利用する情報 妊産婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。		方もいらっしゃることと思います。
院内助産です。先行研究の結果からは、院内助産については産 科病棟での分娩介助と同等の安全性が示されています。 そこで、「妊産婦の安全」という点に着目して、助産所と院内 助産とで分娩に至った妊産婦の分娩データを集めます。 調査結果から得られたデータを比較することによって、助産師 が主導して行う妊娠・分娩管理は安全かどうかを検証すること ができると考えます。 2012 年 1 月から 2020 年 12 月までに自治医科大学総合周産 期母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに、分娩目的で入院し た方の分娩データを病院情報システムより抽出します。 同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも 同様に分娩データを抽出し、比較分析を行い検討します。 データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、 氏名、生年月日、住所を削除し、研究用 ID に置き換えパスワードを付けた USB メモリに保存します。 研究期間 2021 年 9 月 3 目から 2024 年 3 月 31 日まで 研究に利用する情報 妊産婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、 産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特 定する情報であるため、匿名の情報にいたします。		現在日本において、助産師が主導して妊娠・分娩管理を行っ
科病棟での分娩介助と同等の安全性が示されています。 そこで、「妊産婦の安全」という点に着目して、助産所と院内 助産とで分娩に至った妊産婦の分娩データを集めます。 調査結果から得られたデータを比較することによって、助産師 が主導して行う妊娠・分娩管理は安全かどうかを検証すること ができると考えます。 研究方法 2012 年 1 月から 2020 年 12 月までに自治医科大学総合周産 期母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに、分娩目的で入院した方の分娩データを病院情報システムより抽出します。 同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも同様に分娩データを抽出し、比較分析を行い検討します。 データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、氏名、生年月日、住所を削除し、研究用 ID に置き換えパスワードを付けた USB メモリに保存します。 研究期間 2021 年 9 月 3 日から 2024 年 3 月 31 日まで 研究に利用する情報 妊産婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。		ている場所は地域で開業する助産所と病院・診療所に併設する
そこで、「妊産婦の安全」という点に着目して、助産所と院内助産とで分娩に至った妊産婦の分娩データを集めます。調査結果から得られたデータを比較することによって、助産師が主導して行う妊娠・分娩管理は安全かどうかを検証することができると考えます。 2012年1月から2020年12月までに自治医科大学総合周産期母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに、分娩目的で入院した方の分娩データを病院情報システムより抽出します。同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも同様に分娩データを抽出し、比較分析を行い検討します。データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、氏名、生年月日、住所を削除し、研究用IDに置き換えパスワードを付けたUSBメモリに保存します。 研究期間 2021年9月3日から2024年3月31日まで 好産婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。		院内助産です。先行研究の結果からは、院内助産については産
助産とで分娩に至った妊産婦の分娩データを集めます。調査結果から得られたデータを比較することによって、助産師が主導して行う妊娠・分娩管理は安全かどうかを検証することができると考えます。 2012年1月から2020年12月までに自治医科大学総合周産期母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに、分娩目的で入院した方の分娩データを病院情報システムより抽出します。同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも同様に分娩データを抽出し、比較分析を行い検討します。データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、氏名、生年月日、住所を削除し、研究用IDに置き換えパスワードを付けたUSBメモリに保存します。 研究期間 2021年9月3日から2024年3月31日まで 好産婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。		科病棟での分娩介助と同等の安全性が示されています。
調査結果から得られたデータを比較することによって、助産師が主導して行う妊娠・分娩管理は安全かどうかを検証することができると考えます。 2012年1月から2020年12月までに自治医科大学総合周産期母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに、分娩目的で入院した方の分娩データを病院情報システムより抽出します。同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも同様に分娩データを抽出し、比較分析を行い検討します。データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、氏名、生年月日、住所を削除し、研究用IDに置き換えパスワードを付けたUSBメモリに保存します。 研究期間 2021年9月3日から2024年3月31日まで 研究に利用する情報 妊産婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。		そこで、「妊産婦の安全」という点に着目して、助産所と院内
が主導して行う妊娠・分娩管理は安全かどうかを検証することができると考えます。 2012年1月から2020年12月までに自治医科大学総合周産期母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに、分娩目的で入院した方の分娩データを病院情報システムより抽出します。同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも同様に分娩データを抽出し、比較分析を行い検討します。データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、氏名、生年月日、住所を削除し、研究用IDに置き換えパスワードを付けたUSBメモリに保存します。 研究期間 2021年9月3日から2024年3月31日まで 研究に利用する情報 妊産婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。		助産とで分娩に至った妊産婦の分娩データを集めます。
研究方法 2012 年 1 月から 2020 年 12 月までに自治医科大学総合周産期母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに、分娩目的で入院した方の分娩データを病院情報システムより抽出します。同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも同様に分娩データを抽出し、比較分析を行い検討します。データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、氏名、生年月日、住所を削除し、研究用 ID に置き換えパスワードを付けた USB メモリに保存します。 研究期間 2021 年 9 月 3 日から 2024 年 3 月 31 日まで 研究に利用する情報 妊産婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。		調査結果から得られたデータを比較することによって、助産師
研究方法 2012年1月から2020年12月までに自治医科大学総合周産期母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに、分娩目的で入院した方の分娩データを病院情報システムより抽出します。同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも同様に分娩データを抽出し、比較分析を行い検討します。データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、氏名、生年月日、住所を削除し、研究用IDに置き換えパスワードを付けたUSBメモリに保存します。 研究期間 2021年9月3日から2024年3月31日まで 研究に利用する情報 妊産婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。		が主導して行う妊娠・分娩管理は安全かどうかを検証すること
期母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに、分娩目的で入院した方の分娩データを病院情報システムより抽出します。 同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも同様に分娩データを抽出し、比較分析を行い検討します。 データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、氏名、生年月日、住所を削除し、研究用 ID に置き換えパスワードを付けた USB メモリに保存します。 研究期間 2021年9月3日から 2024年3月31日まで 研究に利用する情報 妊産婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。		ができると考えます。
た方の分娩データを病院情報システムより抽出します。 同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも 同様に分娩データを抽出し、比較分析を行い検討します。 データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、 氏名、生年月日、住所を削除し、研究用 ID に置き換えパスワードを付けた USB メモリに保存します。 研究期間 2021年9月3日から2024年3月31日まで 研究に利用する情報 妊産婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。	研究方法	2012 年 1 月から 2020 年 12 月までに自治医科大学総合周産
同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも同様に分娩データを抽出し、比較分析を行い検討します。 データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、氏名、生年月日、住所を削除し、研究用 ID に置き換えパスワードを付けた USB メモリに保存します。 研究期間 2021年9月3日から2024年3月31日まで 研究に利用する情報 妊産婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。		期母子医療センター院内助産所ラ・ヴィに、分娩目的で入院し
同様に分娩データを抽出し、比較分析を行い検討します。 データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、 氏名、生年月日、住所を削除し、研究用 ID に置き換えパスワードを付けた USB メモリに保存します。 研究期間 2021年9月3日から 2024年3月31日まで 研究に利用する情報 妊産婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。		た方の分娩データを病院情報システムより抽出します。
データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、 氏名、生年月日、住所を削除し、研究用 ID に置き換えパスワードを付けた USB メモリに保存します。 研究期間 2021年9月3日から2024年3月31日まで 好産婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。		同期間の他助産所および院内助産(下記の研究組織)からも
氏名、生年月日、住所を削除し、研究用 ID に置き換えパスワードを付けた USB メモリに保存します。 研究期間 2021年9月3日から2024年3月31日まで 研究に利用する情報 妊産婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。		同様に分娩データを抽出し、比較分析を行い検討します。
ドを付けた USB メモリに保存します。 2021 年 9 月 3 日から 2024 年 3 月 31 日まで 研究に利用する情報 妊産婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特定する情報であるため、匿名の情報にいたします。		データは施設ごとの調査用紙に、妊産婦さんの診察券番号、
研究期間 2021年9月3日から2024年3月31日まで 研究に利用する情報		氏名、生年月日、住所を削除し、研究用 ID に置き換えパスワー
研究に利用する情報 妊産婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。 年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、 産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特 定する情報であるため、匿名の情報にいたします。		ドを付けた USB メモリに保存します。
年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、 産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特 定する情報であるため、匿名の情報にいたします。	研究期間	2021年9月3日から2024年3月31日まで
産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特 定する情報であるため、匿名の情報にいたします。	研究に利用する情報	妊産婦さんの診療録より、以下の情報を使用いたします。
定する情報であるため、匿名の情報にいたします。		年齢、身長、体重などの基本情報のほか、妊娠経過、分娩経過、
		産褥・新生児期の経過です。収集するこれらの情報は個人を特
妊産婦さんが解析対象となることを拒否された場合は対象		定する情報であるため、匿名の情報にいたします。
		妊産婦さんが解析対象となることを拒否された場合は対象

	から外させていただきますので、下記研究責任者までご連絡く
	ださい。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析が行われて
	いたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されていた
	りする場合には、対象から外すことはできません。ご了承くだ
	さい。
	なお、研究に参加されなくても不利益を受けることは一切あ
	りません。
研究に関する情報公開	対象となる方のご希望があれば、個人の情報の保護や研究の
の方法	独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画書の資料等
	を閲覧または入手することができますので、お申し出くださ
	γ ₂ °
個人情報の取り扱い	病院情報システムから抽出する情報は、個人を特定できない
	ように、研究者が氏名等、個人を特定できる情報を新しい符号
	に置き換えたうえで研究に使用します。
	データは研究責任者がパスワードを設定したファイルに記
	録し、USB メモリに保存し、厳重に保管します。新しい符号と
	個人を特定する対応表も同様に厳重に保管します。
	また、研究成果は、個人を特定できないようにして学会発表
	や論文などで報告します。
研究組織	獨協医科大学病院 三橋 暁・舟橋好恵
	助産所ままと赤ちゃんの家 武藤香子
	和助産院 伊藤和代
	ことり助産院 小嶋由美
問い合わせ先および	【研究責任者】
苦情の窓口	自治医科大学看護学部
	教授 成田 伸
	〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-159
	電話 0285-58-7516
	【苦情の窓口】
	自治医科大学臨床研究支援センター臨床研究企画管理部管理
	部門
	電話 0285-58-8933
•	